

# 朝鮮高校生への「高校無償化」即時適用と

## 朝鮮学校への制度的保障を求める全国署名

2011年4月1日現在、全国に10校の朝鮮高級学校は、「高校無償化」制度から排除されています。制度実施から1年が経過するなか、3年生は「高校無償化」の「手続停止」が続き、適用を受けられないまま、卒業式を迎えてしまいました。すでに31校の外国人学校が「高校無償化」の対象となっているなか、朝鮮高校を狙い撃ちして排除することは明らかな差別です。

日本政府は排除の理由として、朝鮮半島における軍事衝突を挙げていますが、まったくの筋違いです。この制度はすべての高校段階の生徒の学びを保障するための「就学援助金」であり、外交問題と教育を切り離すという政府・文科省方針と「手続停止」は明らかに矛盾しています。日本社会には、朝鮮学校への差別が根強く存在します。政府による停止措置は、これを助長し煽りたてるものとなり、東京都や大阪府などが朝鮮学校への補助金支給凍結や見直しをするという事態さえ引き起こしました。政府によるこのような差別は、絶対に容認できません。

日本各地にある初級、中級、高級の朝鮮学校は、朝鮮語によって日本の小・中・高等学校に相当する教育を実施しており、多くの子どもたちが日々、教室で学び友情を育みながら学校生活を送っています。にもかかわらず、朝鮮学校は法律上「各種学校」とされ、まともな法的地位を与えられていません。そして国からの経常費への公的な助成は一切ありません。本来なされるべきは、朝鮮学校、および同様の差別的処遇を受けているほかの民族学校・外国人学校への制度的保障を実現し、日本に暮らすすべての子どもに学ぶ権利を保障することです。

あわせて今回の東北地方太平洋沖大地震では、被災地の日本の学校同様、朝鮮学校をはじめとする民族学校・外国人学校も校舎、設備に甚大な被害を受けています。各校の再建・授業再開を激甚災害の指定に伴う補助の対象とするとともに、被災地の外国につながるのある子どもたちを含むすべての子どもたちへの支援の一層の充実を求めます。

>>> 署名活動にご協力ください! <<<

- ・この署名用紙をコピーして広めてください。A4裏表印刷を推奨します。
- ・第1次集約は2011年5月末日です。その後も高校無償化実現まで継続します。
- ・署名をしていただいた用紙は、下記「呼びかけ団体」までご郵送ください。

内閣総理大臣 様  
文部科学大臣 様

## 朝鮮高校生への「高校無償化」即時適用と 朝鮮学校への制度的保障を求める全国署名

わたしたちは次の3点を実施するよう、日本政府に求めます。

- 1、朝鮮高級学校に「高校無償化」制度を即時に適用すること
- 2、朝鮮学校をはじめとした民族学校・外国人学校への制度的な保障を早期に実現すること
- 3、東北地方太平洋沖大地震被災地の朝鮮学校をはじめとした民族学校・外国人学校の再建・授業再開へ向け、激甚災害指定に伴う補助を含む緊急支援を速やかに実施すること

名前	住所

取りまとめ団体（ ）

呼びかけ団体（集約先） 「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会

〒181-0003 東京都三鷹市北野3-9-34 長谷川和男方

Tel 080-3930-4971 E-mail watasitati2004@yahoo.co.jp